

作成年月日	平成30年8月6日
作成部局課室名	企画県民部広聴課

第1回県民モニターアンケート「カムバックひょうごの取組」の調査結果概要

第1回県民モニターアンケート調査「カムバックひょうごの取組」の調査結果をとりまとめました。アンケート結果は、今後のカムバックひょうごの取組に活用します。

1 調査概要

- (1) 調査対象者：県民モニター 2,289人
 (2) 調査期間：平成30年5月28日(月)
 ~6月11日(月)[15日間]
 (3) 調査方法：県ホームページ上のアンケートフォームに入力
 (4) 回答者数：1,793人(回答率78.3%)

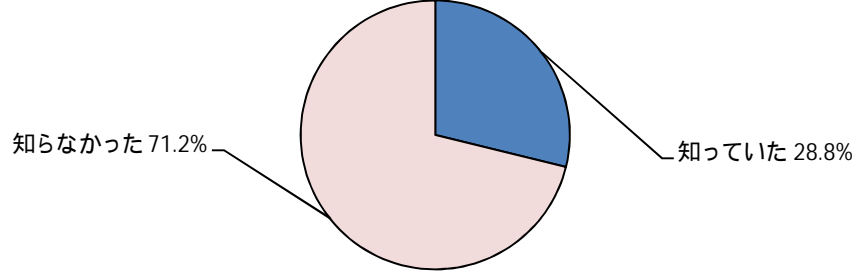
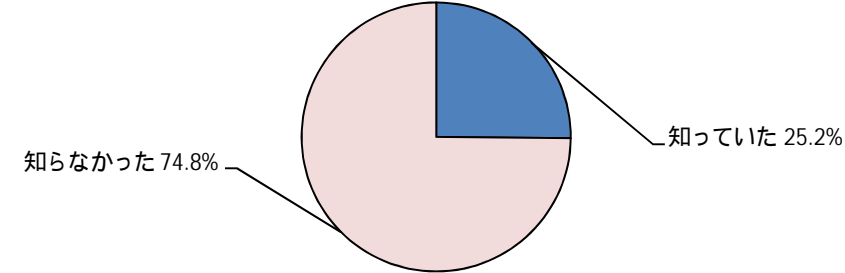
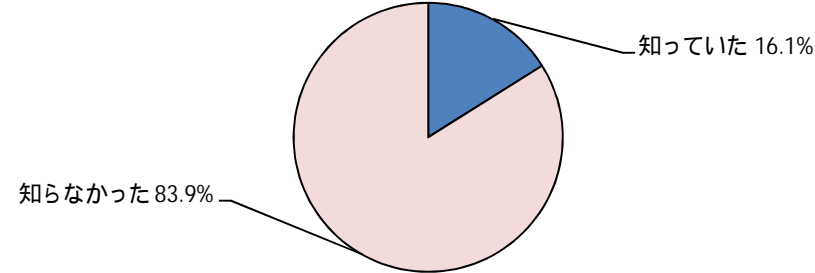
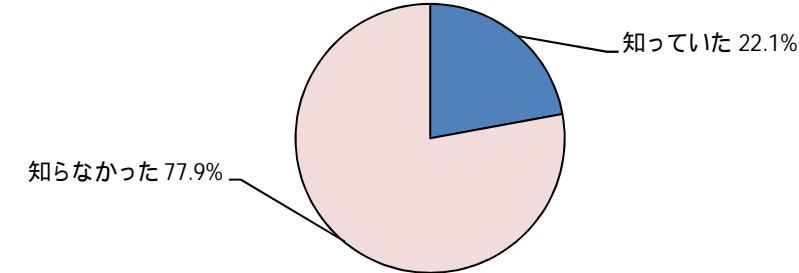
<参考 - 対象者及び回答者属性>

		対象者	回答者	回答率
総数		2,289	1,793	78.3%
性別	男性	1,113	912	81.9%
	女性	1,176	881	74.9%
年代別	10~20代	121	66	54.5%
	30代	264	181	68.6%
	40代	462	344	74.5%
	50代	453	358	79.0%
	60代	485	420	86.6%
	70代以上	504	424	84.1%

2 調査結果の概要

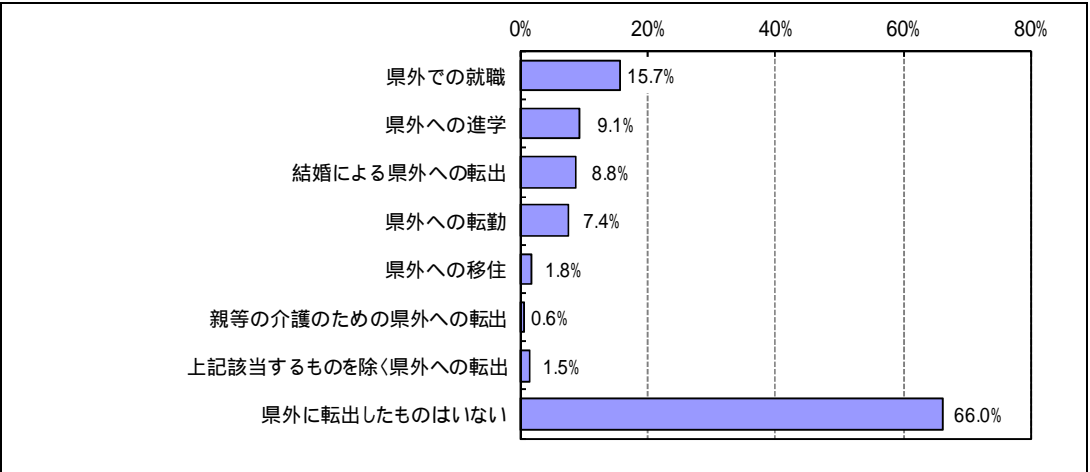
項目	結果概要
人口の動向に関する認識	県の推計人口が550万人を下回ったことについて「知っていた」のは28.8%、平成29年の転出超過数が全国ワースト2位であったことを「知っていた」のは16.1%となった。
家族の県外転出の状況 (過去10年以内)	「県外転出した人はいない(66.0%)」が最も多い。県外転出した人がいる中では「県外への就職(15.7%)」が最も多く、「県外への進学(9.1%)」、「結婚による県外への転出(8.8%)」、「県外への転勤(7.4%)」が続いている。
若者の県外転出について の問題意識の有無とその理由	若者が県外転出することについて、「問題である」と思う人は52.7%、「問題はない」と思う人は13.8%、「どちらともいえない」は33.5%となった。 「問題である」と考える理由では「地域の活力(労働力、購買力等)が低下するから(76.3%)」が最も多く、「問題はない」と考える理由では「本人の意思や事情が優先されるべきだから(61.7%)」が最も多い。
若者が県外転出する理由	「県内に魅力的な学校や就職先がない(少ない)(59.3%)」と思う人が最も多く、「新しい土地で新しいことにチャレンジしたい(13.1%)」、「都会暮らしにあこがれる(8.3%)」が続いている。
若者のUターン、県内定着のために県が力を入れるべきこと	「県内の進学・就職先の情報発信(53.9%)」と「子育て環境の整備(51.7%)」が5割を超え、「進学や就職・転職等に関する相談体制の充実(36.5%)」、「住まいの確保に対する支援(33.0%)」が続いている。
県外から移住者を増加させるために必要な支援策	「移住先での住居・就職などの情報提供(69.6%)」が最も多く、続いて「ウェブサイトやSNSによる情報提供(48.6%)」、「移住候補地でのお試し居住(35.4%)」、「専門の相談員がいる相談窓口の設置(30.0%)」となった。
兵庫県の生活・しごと・移住情報を県外へ効果的に発信する方法	「ウェブサイトによる情報発信(64.9%)」が最も多く、続いて「マスメディア(テレビ、ラジオ、新聞等)による広告(51.6%)」、「SNS(インスタグラム、フェイスブック等)の活用(43.8%)」となった。

3 調査結果

項目	アンケート結果						
<p>人口の動向に関する認識 (1つ選択)</p> <p>あなたは最近の兵庫県の人口の動向について、以下のことをご存じでしたか。</p> <p>県の推計人口が 550 万人を下回った。</p> <p>平成 29 年の県の出生数が過去最低 (42,198 人) であった。</p> <p>平成 29 年の県の転出超過数が全国ワースト 2 位 (6,657 人) であった。</p> <p>県の転出超過数のうち、特に 20 代前半の若者の転出超過が拡大している。</p>	<p>【県の推計人口が 550 万人を下回った。】</p>  <table border="1"> <tr> <th>認識</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>知らなかった</td> <td>71.2%</td> </tr> <tr> <td>知っていた</td> <td>28.8%</td> </tr> </table>	認識	割合	知らなかった	71.2%	知っていた	28.8%
	認識	割合					
	知らなかった	71.2%					
	知っていた	28.8%					
<p>【平成 29 年の県の出生数が過去最低 (42,198 人) であった。】</p>  <table border="1"> <tr> <th>認識</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>知らなかった</td> <td>74.8%</td> </tr> <tr> <td>知っていた</td> <td>25.2%</td> </tr> </table>	認識	割合	知らなかった	74.8%	知っていた	25.2%	
認識	割合						
知らなかった	74.8%						
知っていた	25.2%						
<p>【平成 29 年の県の転出超過数が全国ワースト 2 位 (6,657 人) であった。】</p>  <table border="1"> <tr> <th>認識</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>知らなかった</td> <td>83.9%</td> </tr> <tr> <td>知っていた</td> <td>16.1%</td> </tr> </table>	認識	割合	知らなかった	83.9%	知っていた	16.1%	
認識	割合						
知らなかった	83.9%						
知っていた	16.1%						
<p>【県の転出超過数のうち、特に 20 代前半の若者の転出超過が拡大している。】</p>  <table border="1"> <tr> <th>認識</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>知らなかった</td> <td>77.9%</td> </tr> <tr> <td>知っていた</td> <td>22.1%</td> </tr> </table>	認識	割合	知らなかった	77.9%	知っていた	22.1%	
認識	割合						
知らなかった	77.9%						
知っていた	22.1%						

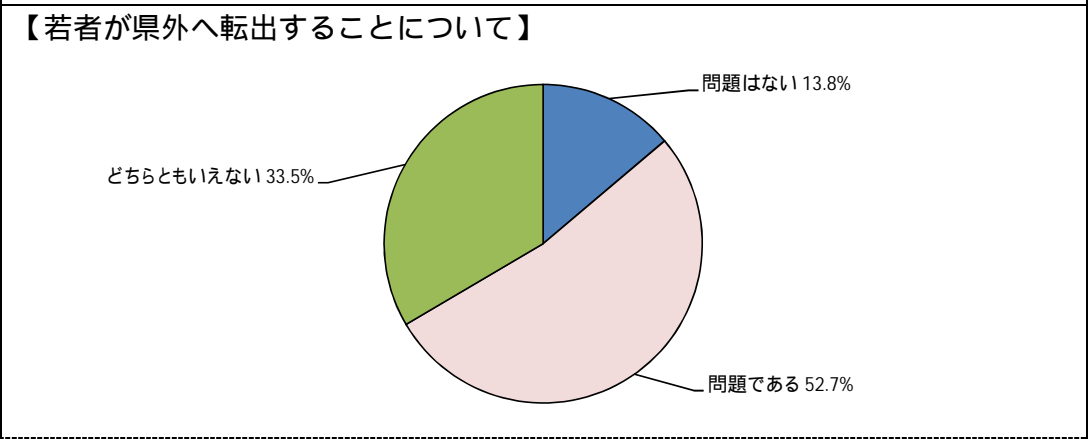
家族の県外転出の状況（過去10年以内）
（いくつでも）

あなたの家族で、過去10年以内に兵庫県から転出された方はおられますか。おられる場合、それはどのような理由で転出されましたか。次の中からお選びください。



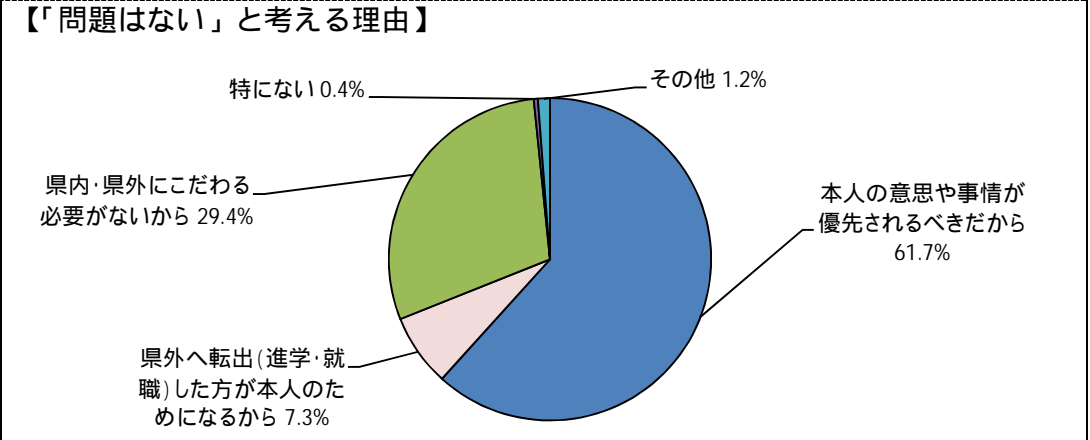
若者の県外転出についての問題意識の有無とその理由
（1つ選択）

若者が県外へ転出することについてどう思いますか。次の中からお選びください



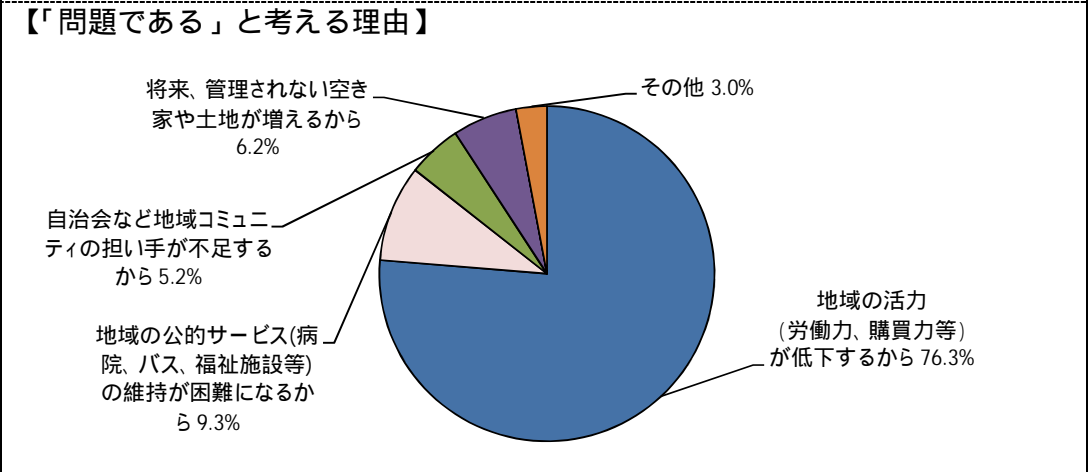
「問題はない」と回答した人に質問。

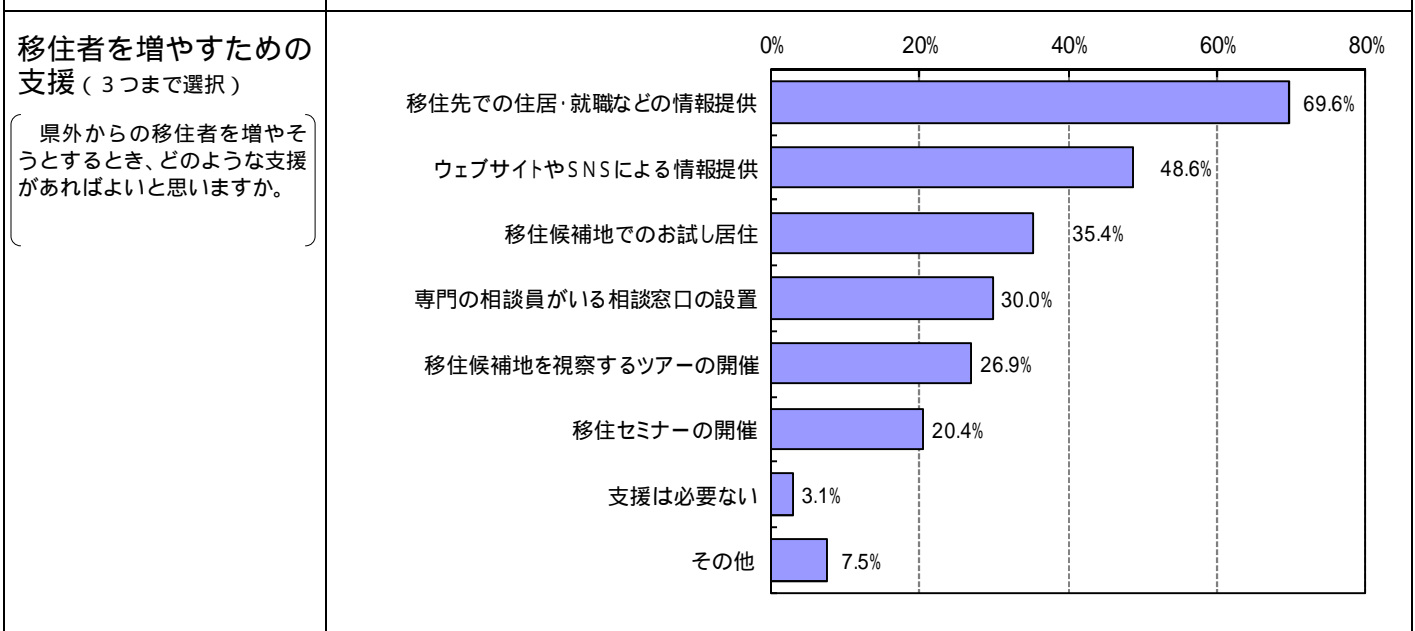
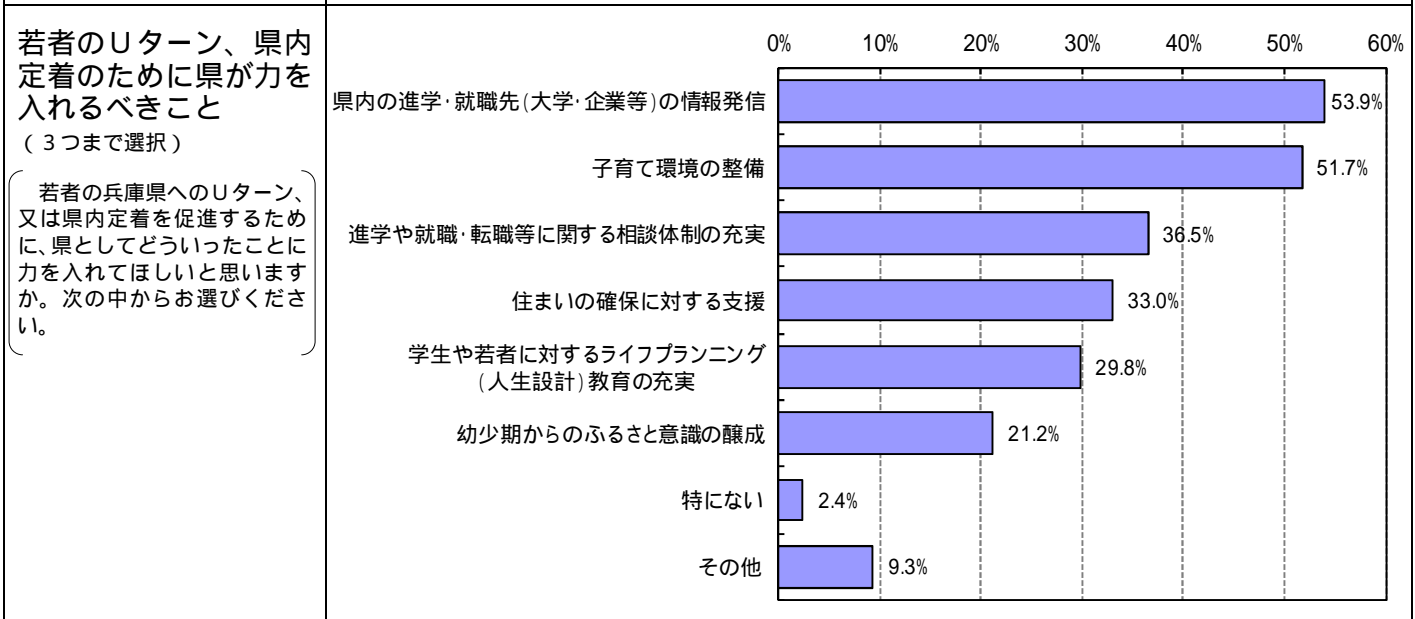
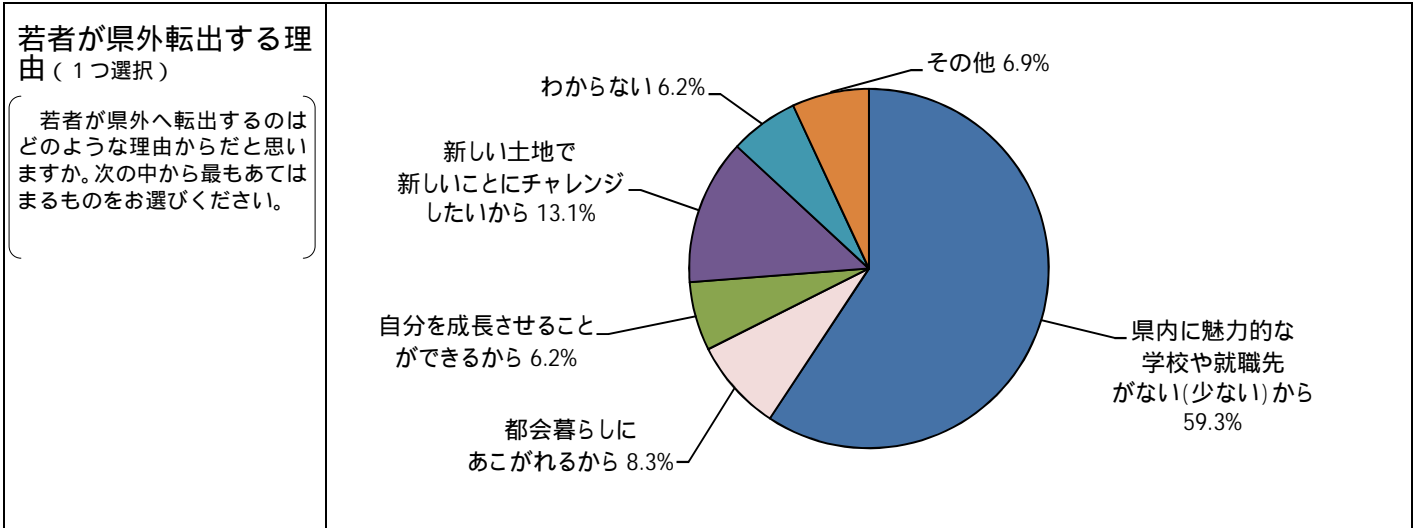
それはどのような理由ですか。次の中から最もあてはまるものをお選びください。

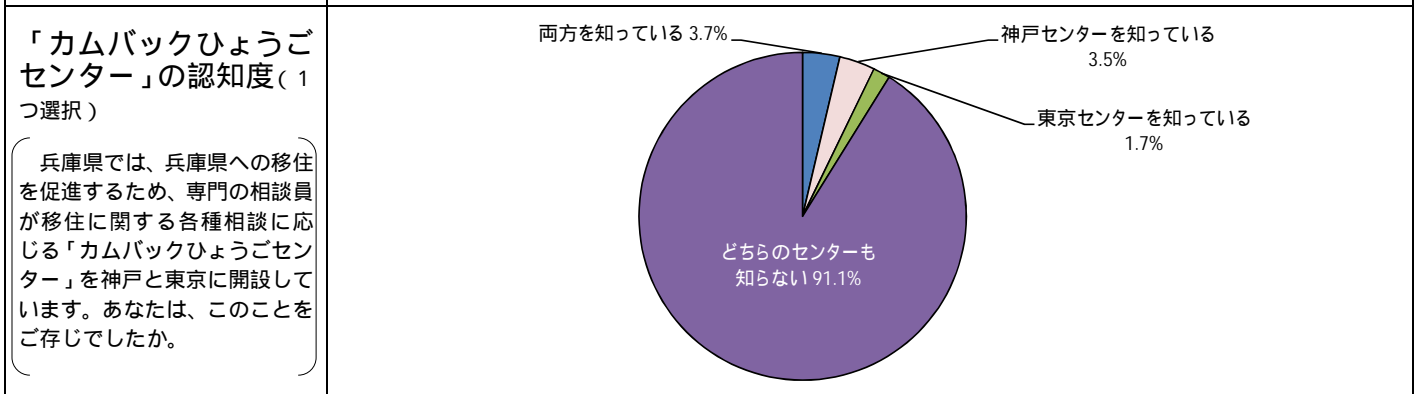
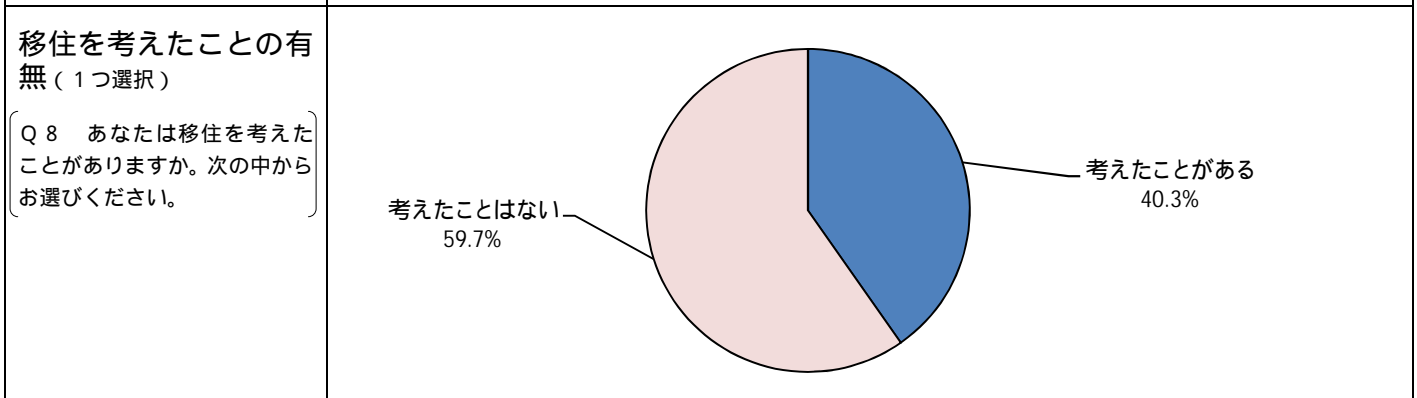
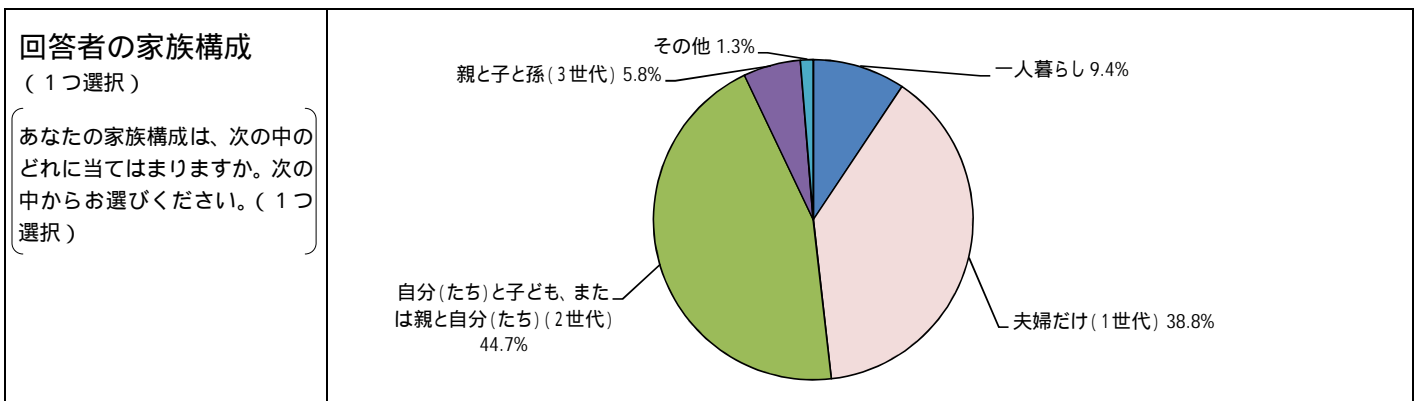
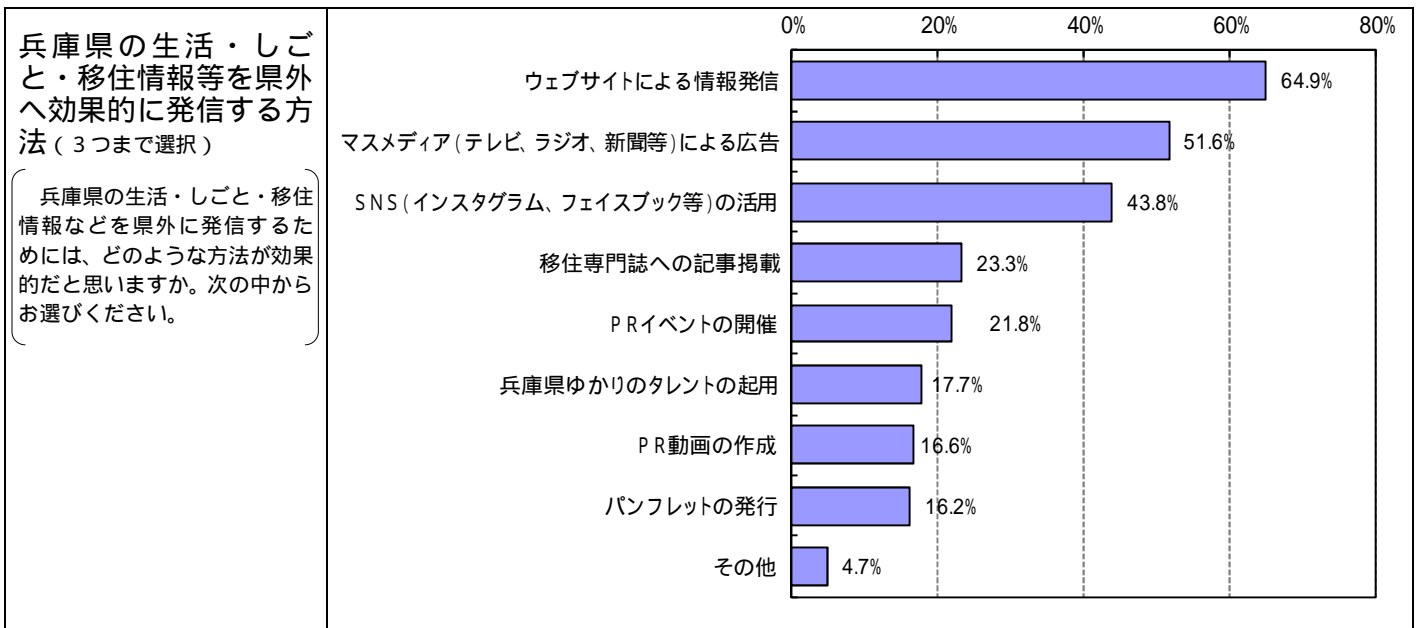


「問題である」と回答した人に質問。

それはどのような理由ですか。次の中から最もあてはまるものをお選びください。

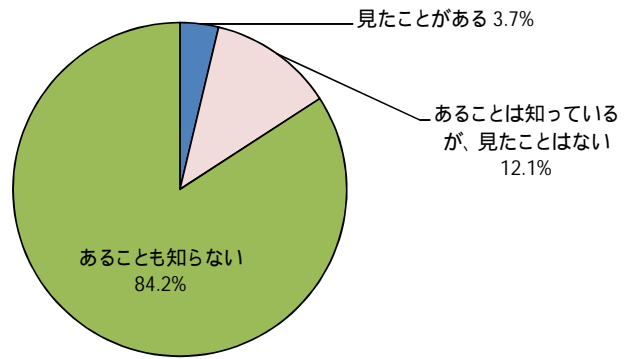






ポータルサイト「夢かなうひょうご」の認知度（1つ選択）

兵庫県では、生活・しごと・移住情報などをワンストップで発信するポータルサイト「夢かなうひょうご」を運営しています。あなたはこのポータルサイトを見たことがありますか。次の中からお選びください。



【 問い合わせ先 】企画県民部広聴課 (TEL078-362-3021)